

## 1/25 たくさんの笑顔と愛に満ちあふれ 1 万人



平成 28 年 2 月 1 日から NPO 法人わかち愛もせうしが受託運営している妹背牛町総合事業。1 月 26 日の「頭の体操」で参加者がついにのべ 1 万人を突破しました。記念すべき 1 万人目の参加者は寺嶋幸子さん。寺嶋さんは週に 2 回事業に参加していて「家にいたらなにもしないのでこうやってみんなで集まれる場所があるのはありがたい。歩いてこられる場所があるのでいい運動にもなります」と話されました。

新型コロナウイルスの影響により活動を停止している時期もありましたが、1 月 8 日から再開。NPO 法人わかち愛もせうしの水上明理事長は「たくさんの人に来ていただき、続けてこられた事をうれしく思います。」と話されました。

## 1/30 ベトナムの家庭料理を 妹背牛の皆さんへ直接お届け



ベトナムの料理を妹背牛町の人たちにも味わっていただき食文化を知っていただく「ベトナムキッチン」がわかち愛もせうしひろばで行われました。

2 回目となる今回は新型コロナウイルス感染症対策のため事前予約制のお弁当形式で販売。予約数は上限の 150 食に達し完売しました。

お弁当の内容はターメリックライス、豚肉の炒め物、きゅうりのサラダ、ほうれん草のスープ、デザートにマンゴープリン。

ベトナムキッチンを企画し、当日の調理、販売までを行った地域おこし協力隊の 2 人は、「いままで町民の皆さんとお話しする機会が少なかったのですが、たくさんの方から声を掛けていただき、とてもうれしかったです」と話しました。

## 2/8 JA 女性部から リングプルの寄贈



JA 北いぶき女性部妹背牛支部の皆さんから、妹背牛社会福祉協議会にリングプル 22 キロを寄贈していただきました。

協議会ではアルミ缶についている「アルミ製リングプル」の回収活動を実施しており、一定量を集めて換金し、そのお金で車いすを購入する事業を行っています。車いす 1 台を交換するにはおよそ 700 キロのリングプルが必要とされているそうです。

## 2/2 節分にそばで 健康を祈願



手打ちそば倶楽部もせうしのそばの販売が行われました。今年初となったそばの販売は新型コロナウイルス感染症の影響から、定期的に行っている形で提供することが出来ないため、来場時にはマスクの着用をお願いしテイクアウトでの実施。買い求めに来たお客さんからは「美味しいそばを家でも食べられてうれしい」などの声もあり好評でした。

## 2/13 寒冬に心温めるオレンジのまちあかり



新型コロナウイルスの影響で毎年行われていた「スノフェス」が中止となり、代替イベントとして企画された「まちあかり Night」がわかち愛もせうしひろば前にて実施されました。イベント開始と同時にキャンドルやランタンに明かりが灯され、ほのかな光が会場や訪れた人々を優しく包み込みました。紙袋で作られたランタンには、様々な絵や模様などが描かれ子どもたちも大喜び。イベントの中盤には約 50 発の花火が打上がり、久しぶりに見た花火に会場の人々は感動していました。

また、2月1日から13日まで保育所年長児と小学生が書いてくれた冬をテーマにした絵もわかち愛ひろばに展示されました。



## 2/15 ムービングハウスを設置

本紙6ページにて紹介している観光宿泊施設整備事業として妹背牛温泉ペル横にムービングハウスを2台設置いたしました。海上コンテナサイズの大きさ(幅2.4m長さ12m高さ2.89m)の宿泊施設では木造になっておりインターネット環境が整備されます。

利用可能となるのは4月上旬からの予定です。



## 2/10 少しでも不安を取り除けるよう



新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、感染症予防にと小・中学校それぞれに妹背牛建設業協会より人の体温を計測するサーマルカメラを寄贈していただきました。熊木春雄会長は「子どもたちや保護者の方々が安心して過ごせるようご活用ください」と話されました。このご厚意に対し田中町長から感謝状が贈られました。

## 1歳になりました

伊藤 暖人 くん

お兄ちゃん大好きー食べることも大好きーたくましく成長してます♪



伊藤 達矢さん  
真維さん

令和2年2月10日生まれ



## 2/15 より迅速に出動できるよう

深川消防署高機能消防指令センターの開通式が行われました。隣接する妹背牛町、秩父別町の119番通報は同センターに繋がるようになっていきます。これにより火災や救急現場への到着が従来より短縮されます。これから119番通報をされる際は住所の最初に妹背牛町とつけることと世帯主の名前をフルネームで伝えるようお気を付けください



## 2/3 高橋喜代史さん本郷新記念札幌彫刻賞受賞



妹背牛町出身の高橋喜代史さんが昨年、若手作家を対象とした第3回本郷新記念札幌彫刻賞を受賞し、受賞作品「ザブーン」の除幕式が札幌市の大通交流拠点地下広場（大通西4）で行われました。何かに飛び込んでいく気持ち、躍動感を波をモチーフに表現されています。

同作品は今年の2月から2024年の1月までの3年間設置されています。また、今年度中に本郷新記念札幌彫刻美術館にて高橋さんの個展が開催される予定です。

今回は、テト（旧正月）に行われるベトナム伝統のバイン・チュン、バイン・ザイ作りの起源について紹介します。

昔々、第6代フン・ブオン※は20人の息子の中から、才能と美德を持っている王子に王位を継がせようと思っていました。その為、妖精王の崇拝式で彼を満足させられるような料理を差し出せば、長男ではなくても次の王様になれると言いました。

しかし、第18王子のラン・リユーは貧しく、米の栽培にしか慣れていなかったため、食材を探し出すのは困難でした。ある晩、ラン・リユーは夢の中で神様に会いました。そして、神様が教えてくれた通りに、もち米と緑豆と豚肉で二つのバインという料理を作りました。四角いものは「大地」を、丸いものは「天」を象徴しています。バインはとても美味しく、深い意味を持っているため、フン・ブオンは妖精王の崇拝式で2つのバインを選びました。そして、四角いものをバイン・チュンと、丸いものをバイン・ザイと名付けました。それから、ラン・リユーは王位の継承者になりました。

それ以来、ご先祖にバイン・チュン、バイン・ザイを捧げることはベトナム人にとってテトの中でも欠かせない伝統となったのです。

※ベトナム史上初の国家とされるヴァン・ラン国の18代にわたる歴代王の総称（来月の広報で詳しく紹介させていただきます。）

### ベトナムコーナー VIETNAM CORNER

地域おこし協力隊：  
ヌー



バイン・チュン（右）  
とバイン・ザイ（左）

Số này, tôi sẽ kể về nguồn gốc truyền thống làm bánh chưng, bánh dày vào ngày Tết của người Việt Nam.

Ngày xưa, Hùng Vương đời thứ 6 muốn tìm một người thật tài đức trong số 20 người con để nối ngôi nên đã ra điều kiện: không nhất thiết là con trưởng, ai làm vừa ý nhà vua trong lễ Tiên vương sẽ được truyền ngôi.

Lang Liêu, người con thứ 18, vì nhà nghèo, chỉ quen với việc trồng lúa nên không biết lấy đâu ra của ngon vật lạ để làm lễ. Nhưng sau một đêm nằm mộng, được một vị thần mách bảo, chàng đã lấy gạo nếp, đậu xanh và thịt lợn làm thành hai thứ bánh, loại hình vuông tượng trưng cho đất, loại hình tròn tượng trưng cho trời, dâng lên vua cha. Vua thấy bánh ngon, lại có ý nghĩa sâu sắc nên lấy hai thứ bánh ấy lễ Trời, Đất và lễ Tiên vương, đặt tên cho bánh hình vuông là bánh chưng, bánh hình tròn là bánh dày, và truyền ngôi cho Lang Liêu.

Từ đó, việc gói bánh chưng và bánh dày cúng lễ tổ tiên trở thành phong tục không thể thiếu trong ngày Tết của người Việt.